

A photograph of an archaeological excavation site. In the foreground, a person wearing a hat and a checkered shirt is kneeling on the ground, working with a red bucket. The ground is covered with dark soil and numerous small, light-colored stones or fragments. In the background, there are several modern residential buildings, a white car, and utility poles under a cloudy sky.

きぶねはいじあと  
**木船廃寺跡**

**現地説明会資料**

2010年8月29日

(財)浜松市文化振興財団・浜松市文化財課

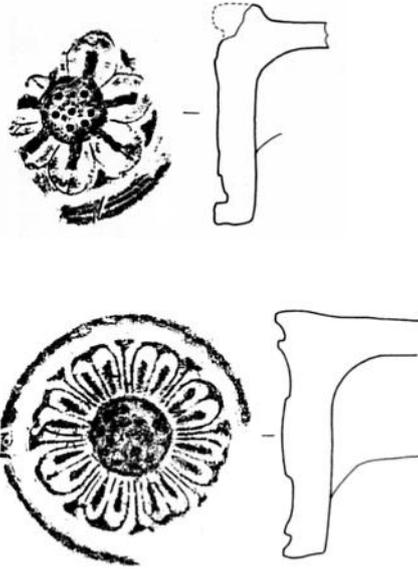
## きぶねはいじあと 木船廃寺跡について

**経緯** 木船廃寺跡は、1954年（昭和29）区画整理に伴う道路工事現場から大量に瓦が採集され、その存在が知られるようになりました。出土した瓦は、飛鳥時代後期（白鳳期、7世紀後半）にさかのぼる古い時期の特徴を備えており、浜松市内でも最古の寺院跡として注目されました。また、正確な出土年は不明ながら、排水路の工事中に礎石が確認され、現在、木船薬師堂前に移されています。この礎石も、古代の寺院の存在を示す有力な証拠とされました。しかし、その正確な位置は、1977年（昭和52）に実施された発掘調査においても把握できず、長らく「幻の寺」とされてきました。

**2010年の調査** 2010年、保育園園舎の建替えに伴い発掘調査を実施し、数千点を数える大量の古代瓦が出土しました。瓦が廃棄された時期は、一緒に出土した土器から鎌倉時代（13世紀）であると推定できますが、瓦の出土量が非常に多いことから、瓦が本来あった所から大きく離れていないと考えられます。古代瓦は調査地の西側の微高地から、東側の低地に捨てられており、瓦の出土状態とともに、地形的にも古代寺院の位置を想定することができます。

これらの調査成果から、今回の調査地は、木船廃寺の東側の境界域に相当するものと捉えられます。「幻の寺」であった木船廃寺の位置が今回の発掘調査で特定できました。

**出土瓦の特徴** 今回の調査によって、今まで知られていたものとは異なる新型式の軒丸瓦（のきまるかわら）が発見されました。また、木船廃寺では初めて出土となる軒平瓦（のきひらかわら）も確認できました。従来知られていた軒丸瓦はいずれも飛鳥時代後期（白鳳期、7世紀後半）の特徴を備えていましたが、今回出土した瓦には、奈良時代後半（8世紀後半）にくだるものが含まれます。木船廃寺は飛鳥時代後半から奈良時代後半まで100年近くにわたり維持されていたことが判明しました。



1954年に出土した瓦



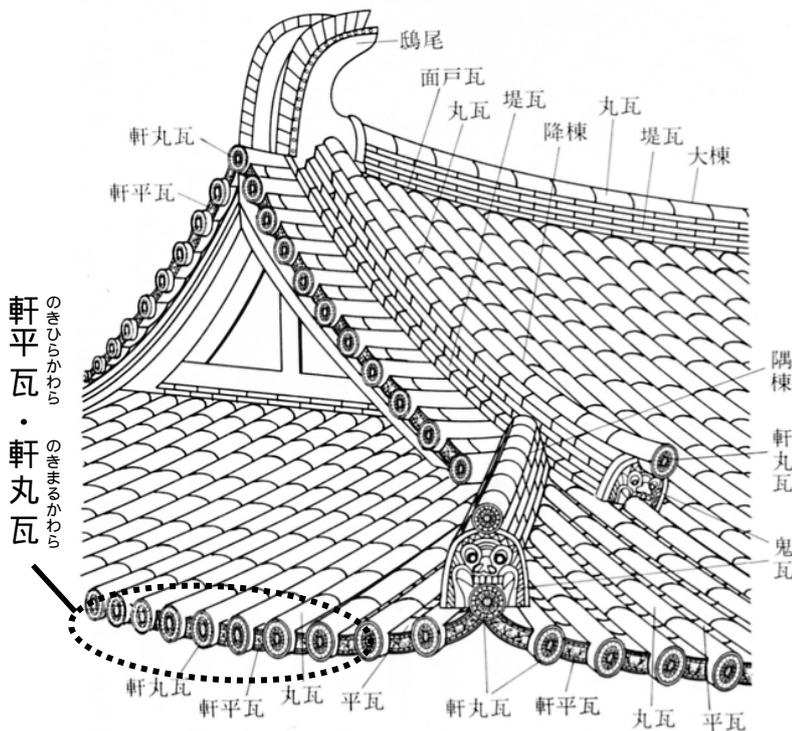
このたびの発掘調査で確認できた古代瓦の集積



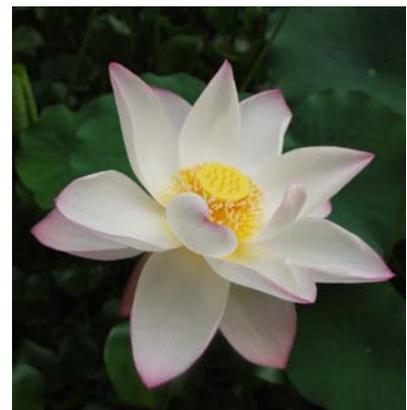
出土した古代瓦 各時代の型式が認められます

**木船廃寺の性格** 調査地点の南西 250m の村東 遺跡からは古代の木簡が 3 点出土しており、近辺に古代の役所があったことが分かります。また、木船廃寺跡の近辺には「永田」という地名が知られています。「永田」は古代の郡名「長田」のことであり、木船廃寺跡の近辺には、長田郡（和銅 2 年（709）に長田郡が長上郡と長下郡に分割された後は長上郡）の中心地でした。木船廃寺は、単独で立地する寺院ではなく、長田郡（長上郡）の役所に付随する施設であったとみてよさそうです。

今回新たに確認できた型式を含め、木船廃寺跡から出土した瓦には、飛鳥や奈良の有力寺院や宮都に使用された瓦とのデザインの関連がみられます。当時の最新の技術と情報を入手していることから、木船廃寺を建立し、維持した当地の有力者は、中央政権と密接な関係をもっていたことがうかがえます。



屋根瓦の名称

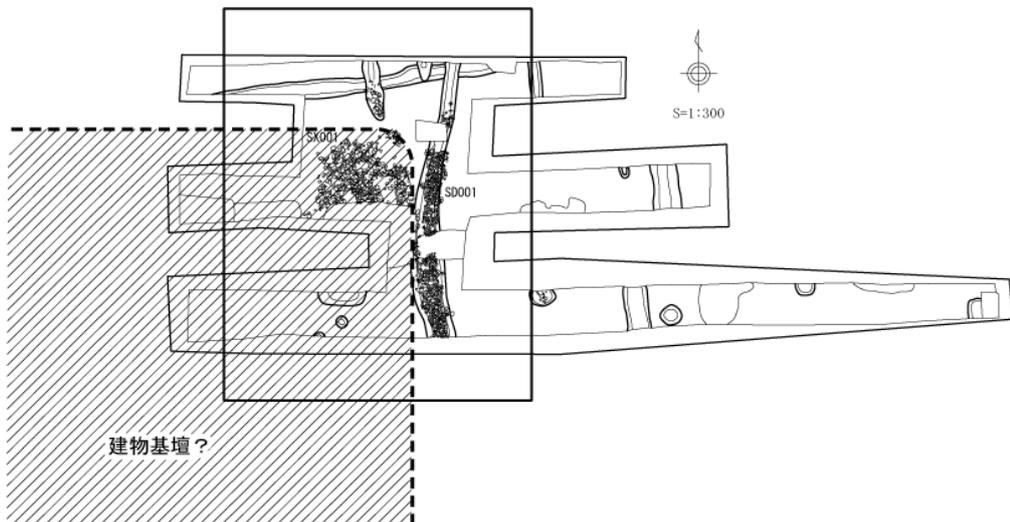


蓮の花（軒丸瓦のモチーフ）

# 木船廢寺跡2010年検出遺構

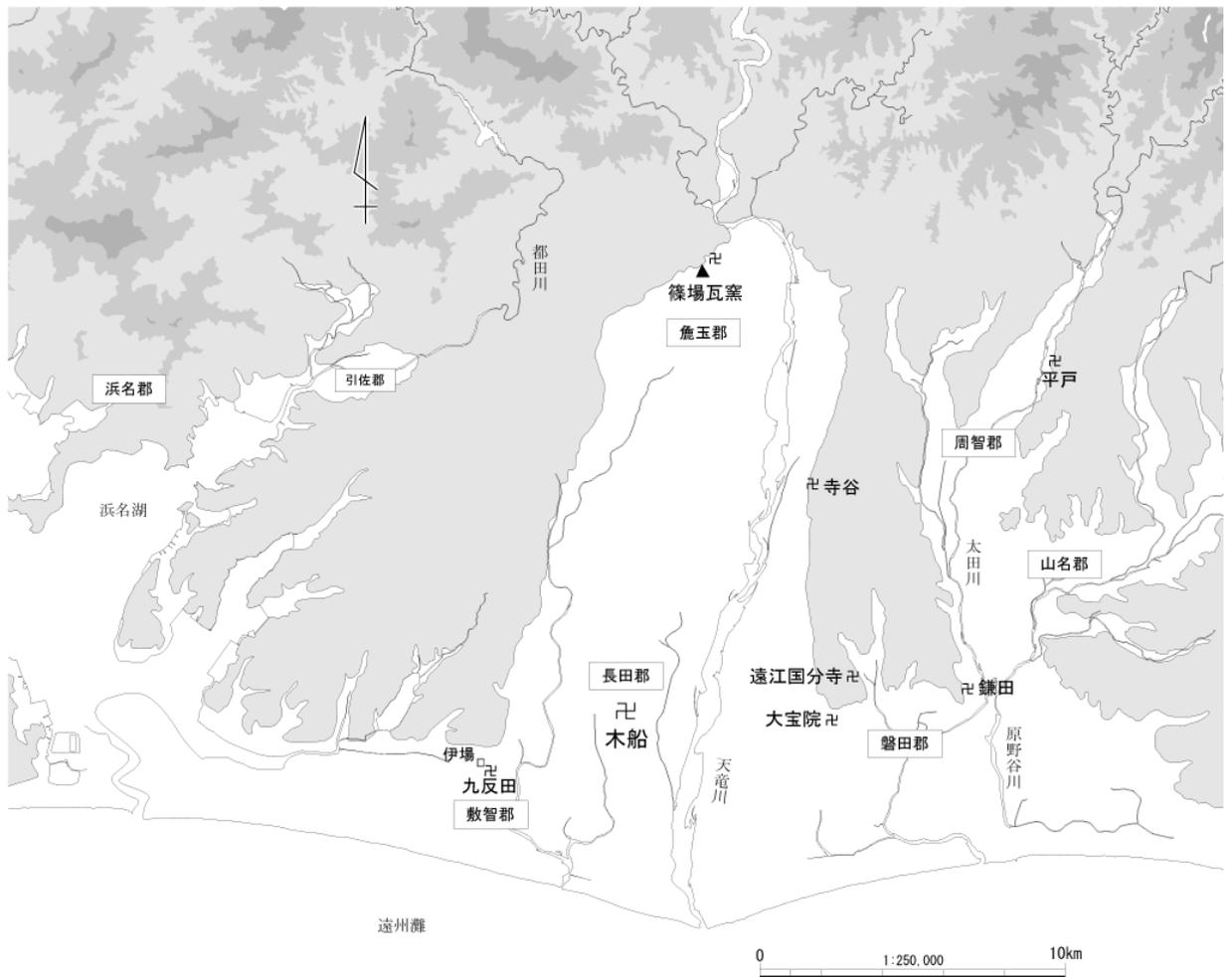


← 建物基壇？





標識資料と木船廃寺の出土品



静岡県西部の古代寺院と郡の位置

木船廃寺出土品

主なできごと

650

645年 大化の改新



山田寺式系

長田評 のち長田郡) 成立

7世紀後葉 木船廃寺建立

700

694年 藤原京に遷都



川原寺式系

709年 長田郡、長上郡と  
長下郡に分かれる



石川寺式系

710年 平城京に遷都



平城宮式系

752年 東大寺大仏開眼

この頃、遠江国分寺建立



大蒲村東遺跡出土木簡



平城宮式系

800

794年 平安京に遷都



遠江国分寺式

9世紀前葉頃、木船廃寺廃絶か